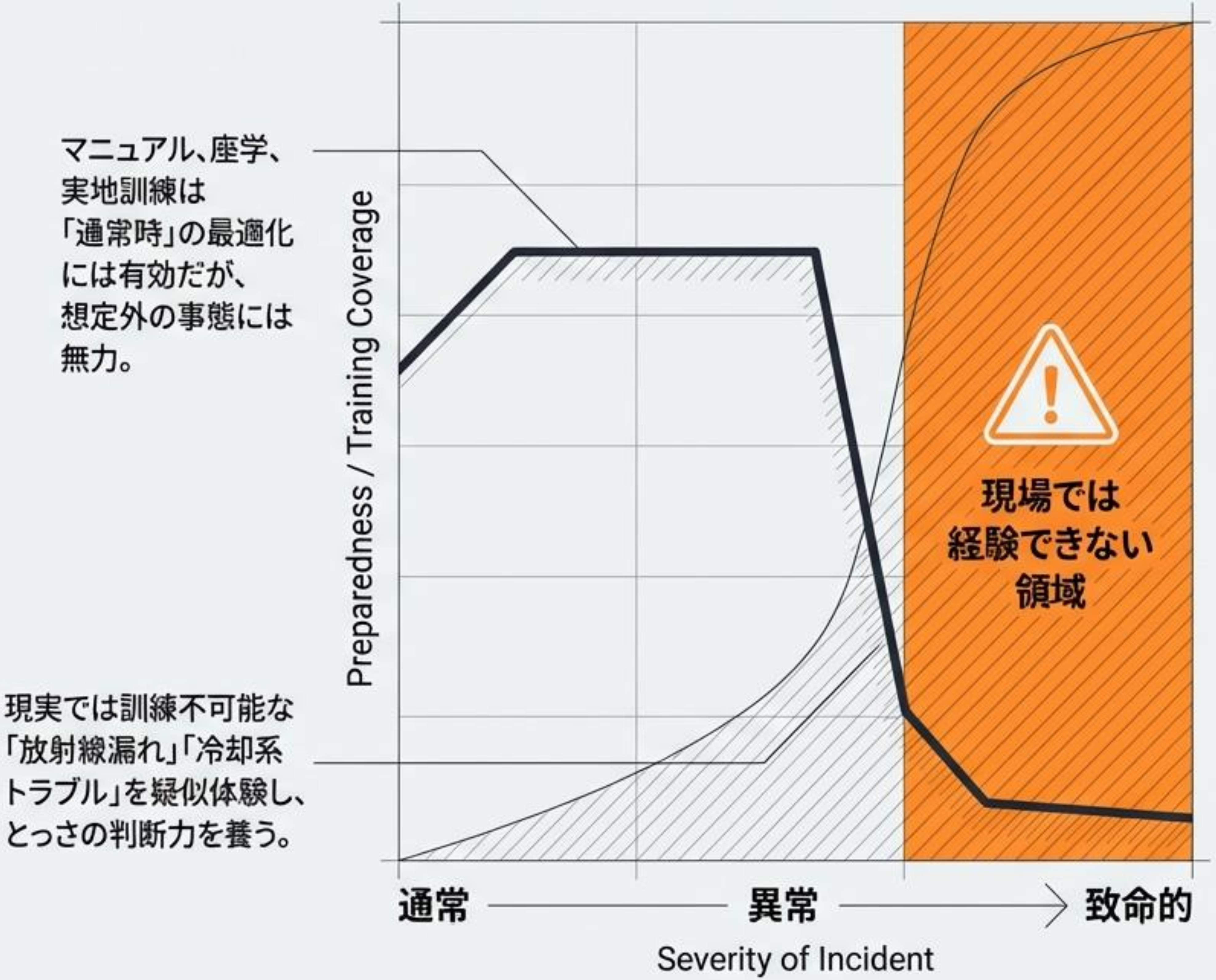
NUCLEAR SAFE VR TRAINING SYSTEM

現場で起こりうる“最悪の事故”を、
安全に体験させる次世代型訓練プラットフォーム

Proposed by Crowtec Madrid / Tokyo | 2026

致命的な事故を防ぐための唯一のピースは「経験」である。

事故を起こさないためには
“経験”が必要です。
ただし現場では経験できません。



DREAMAN

究極の「体験型判断トレーニング」

対象ユーザー

- 原発作業員（新規・既存）
- 保守点検スタッフ
- 緊急対応チーム
- 管理者・指揮官

NUCLEAR SAFE VR

提供価値

- 事故発生率の低減
- ヒューマンエラー削減
- 訓練コスト削減
- 教育の標準化・可視化

既存の訓練手法と本提案システムの比較

	マニュアル	座学	従来の実地訓練	本提案：NUCLEAR SAFE VR
異常事態の再現性	×	×	○	●
訓練時の安全性	○	○	●	●
行動データの完全取得・AI評価	×	×	×	●
チーム連携・指揮系統の検証	○	○	○	●

網羅的なシミュレーション・シナリオエンジン

① 通常作業トレーニング

- 放射線管理区域への入退場
- 防護服着脱
- 点検ルート巡回
- 機器操作

② 異常時対応 【最重要】

- 放射線漏れ発生
- 冷却系トラブル
- 火災発生
- 作業員倒れる
- アラーム多発

③ 緊急対応シミュレーション

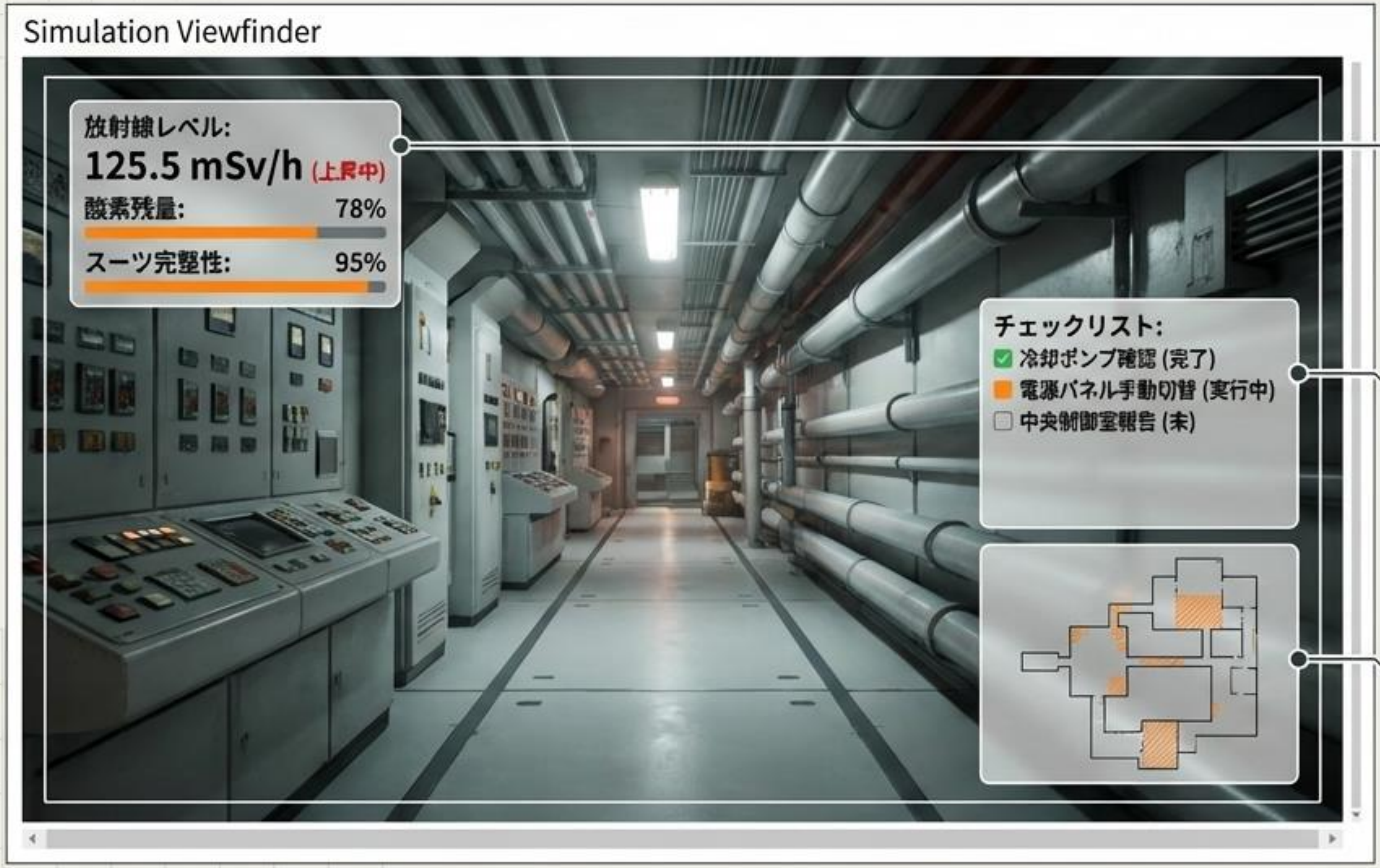
- 避難判断
- 指示伝達
- チーム連携
- 優先順位判断

④ 管理者モード・リプレイ

- 指示ミスの再現
- 判断遅れの影響可視化
- KPI化

DREAMAN

「現実では訓練できない領域」を再現する圧倒的な没入感



リアル再現:
高精度3Dモデルによる原発施設、実際の機器UI、音・警報・振動の同期。

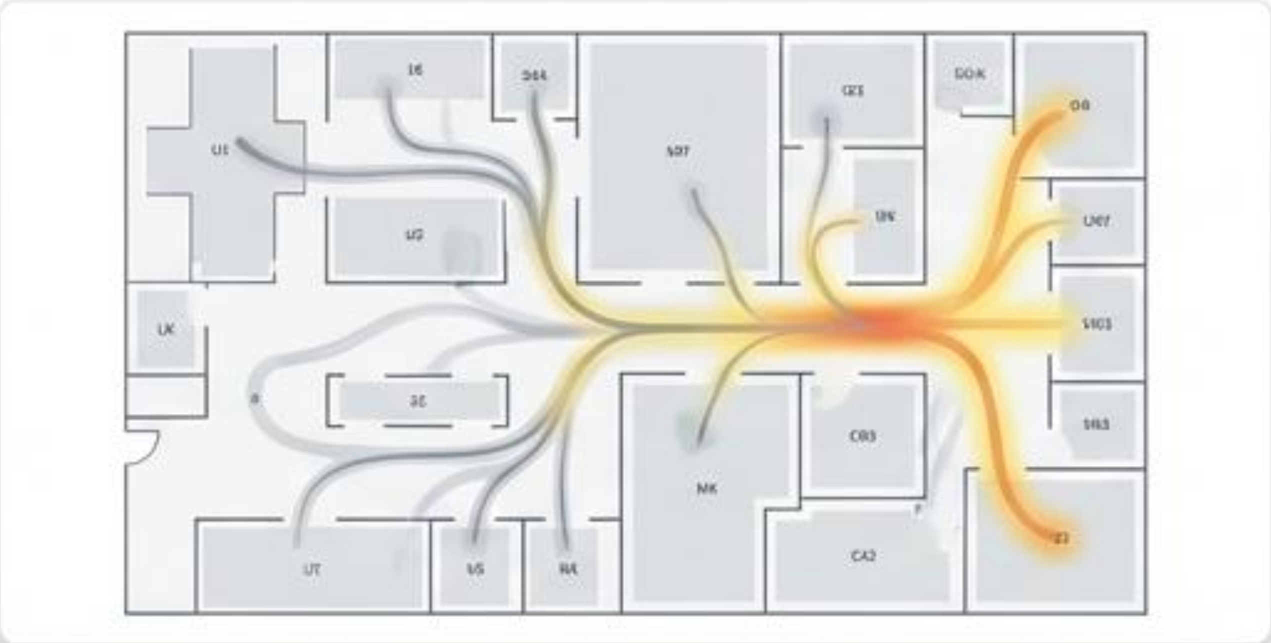
マルチプレイ:
リアルタイムなチーム訓練・指揮系統訓練に対応。

シナリオ分岐:
ユーザーの行動によって結果が変わる動的なシミュレーション。

DREAMAN

経験を「勘」から「データ」へ変換するAI評価システム

管理者モニタリング



- 複数ユーザーのリアルタイム追跡
- 動線ヒートマップとインシデントのリプレイ機能

AIアナリティクス

- 行動ログの完全取得とミス検出
- 反応速度と判断精度のKPI化・スコアリング
- 改善提案とレポート出力

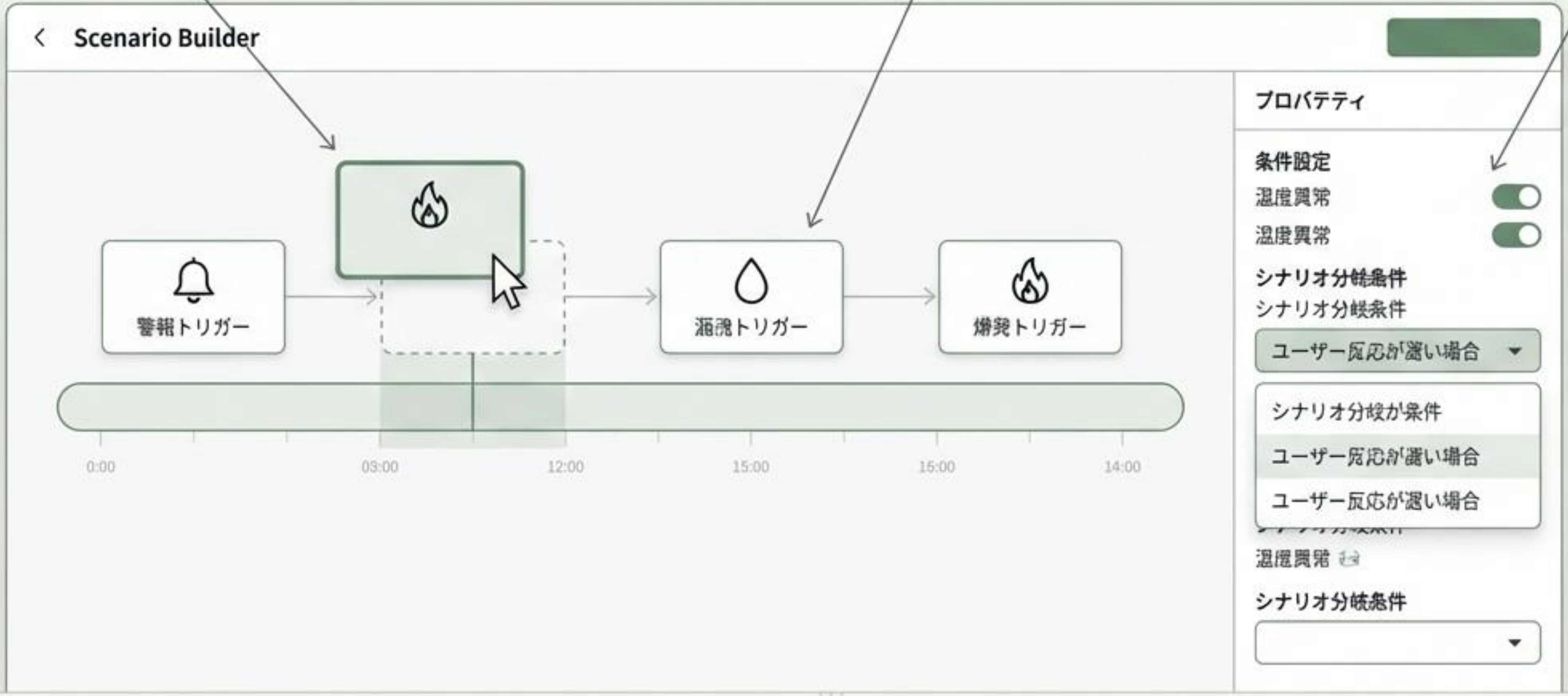
ドラッグ＆ドロップで構築するカスタム・シナリオ

独自の訓練要件に合わせた「想定外」を自在に設計

ドラッグ＆ドロップ対応のタイムライン構築

イベントトリガーの自由な配置
（警報、漏洩、爆発など）

条件ベースの分岐シナリオ



導入ターゲットと収益・提供モデル

電力会社（東京電力・関電など）	原子力研究機関
プラント企業	官公庁

初期費用

500万〜2000万円

月額ライセンス・保守

10万〜50万円

カスタムオプション: シナリオ追加課金による拡張

DREAMAN

コアエンジニアリングサービス

ウェブ・バックエンド・モバイル・プラットフォームエンジニアリング

製品戦略から長期的な運用まで・ビジネスに確かな価値をもたらす・信頼性の高いソフトウェーア システムを提供するチームを支援します。

ウェブ&バックエンド開発
パフォーマンスと保守性のために設計されたスケーラブルなウェブ製品・API・およびバックエンドシステム

ソフトウェアアーキテクチャ
チームの速度と長期的な成長をサポートするモジュール型アーキテクチャの決定

DevOpsおよびクラウド運用
信頼できるリリースのための自動化されたCI/CD・インフラ管理・運用監視

モバイルアプリケーション
ユーザーエクスペリエンスと堅牢な統合に焦点を当てたクロスプラットフォームおよびネイティブアプリ

DREAMAN

プロジェクトワークフロー

01

企画とコンセプト

スコープ定義・要件・および戦略的整合性の確保

02

設計と開発

明確なマイルストーンと頻繁な検証を伴う実装

03

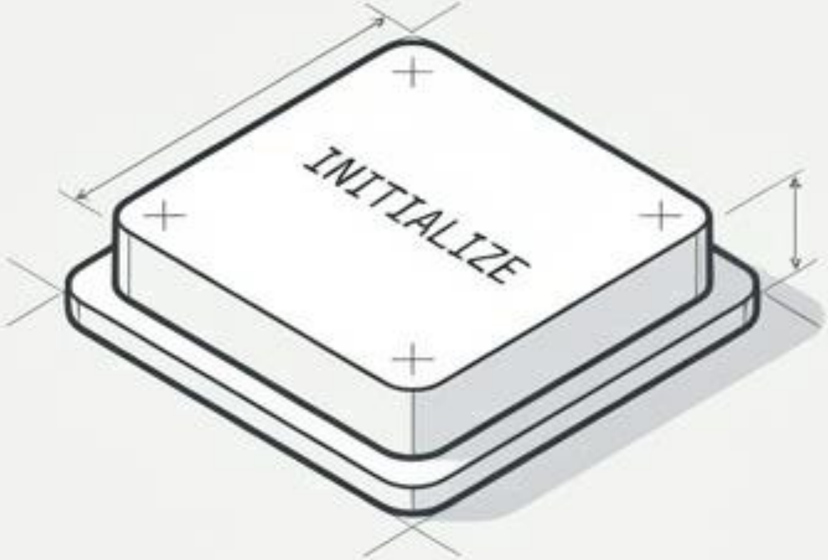
運用とサポート

モニタリング・反復・長期的な技術的サポート

CROWTECを選ぶ理由

- 共有およびマルチユーザー体験のデザイン
- ウェブと没入型スタックの強力な技術的知見
- プロトタイプから本番環境までの信頼性の高い提供

DREAMAN



「起こりうる未来」を、今日コントロールする。

プロトタイプ開発・PoC（概念実証）のロードマップ策定へ。

Crowtec マドリード / 東京 | info@crowtec.co | crowtec.co | 2026・全著作権所有

DREAMAN